

ヘリテージマネージャー養成講座における「演習」について

山口県建築士会HM協議会

テーマ：地域文化財を見つける、調べる、活用を提案する

ヘリテージマネージャーの役割の一つとして、なじみのある地域に残された文化財級の建物や町並み(以下「地域文化財」と言います)の発掘、調査があります。このため本講座では、自分の住んでいる、あるいは勤務している場所周辺にあるお宝、地域文化財を発見して、具体的に調査や評価を行い、市民、県民に分かりやすく伝えるスキルを身につけることを目的とした演習を実施します。また、受講生には建築士も多いので、それらを末永く使用できるための維持・管理・活用の提案も検討していきます。

【演習 1】「私の残したい地域文化財(建造物・街並み)」を見つけよう、調べよう！

- ・対象地域、対象物の選定は自由ですが、できるだけご自宅や職場に近いエリア内を歩かれ、日ごろ気になっている地域のお宝になりそうな「建造物」と「町並み」をそれぞれ1つ以上選んで下さい。
- ・具体的選定条件は次の通りです。
 - ①山口県内に所在する建造物、町並みであること。(町並みとは、歴史的建造物が3棟以上隣接したもの)
 - ②建築後50～60年以上経過していること
 - ③文化財(国・県・市町)及び重伝建地区や登録有形文化財の指定が未だなされていないもの
 - ④受講者にとって、何からの歴史的、文化的価値を見出し、それらを文章化するなどして説明できること
- ・どうしても見つからない場合は、すでに登録有形文化財になっているものや、書籍等で紹介されているもの、今後視察する地域の中で見つけたりしたもの、の中から選定されても良いものとします。(見つからない場合、協議会からもアドバイスいたします。)
- ・それらを現地に行って写真撮影し、別添の「演習 1-1 私の残したい地域文化財(建造物)調査シート」と「演習 1-2 私の残したい地域文化財(町並み)調査シート」に「年代」「構造形式」「特徴」「画像」等をご記載下さい。記載例に倣い、図書館や郷土館で歴史的な経緯を調べ、市町の文化財行政関係者や持ち主へのヒアリングで得た事柄なども含め、自分なりの歴史的、文化的価値を見出し、できるだけそれらを詳細に記載して下さい。
- ・演習 1-1、演習 1-2 演習シートの提出期限は、令和7年10月31日(金)とします。

【演習 2】「私の残したい地域文化財」を比べよう、発表しよう！

- ・演習 1 で取り上げた地域文化財に外観がよく似たもの、同時期に建てられた同じ用途のものなどと比較してみましょう。そのことから判明した内容を演習 2-1 「私の残したい地域文化財(建造物)」比較シートにコメントとして記載して下さい。(例えば、第1回講座で紹介した山口県旧県庁舎であれば、同時期に建設された山形県庁舎と比較したりするなど)演習 2-1 演習シートの提出期限は、令和7年11月8日(金)とします。
- ・これらを、令和7年11月15日開催予定の「第6回講座」の中で、山口県旧県会議事堂議場を会場独自の対象物をコメント共に報告していただきます。発表の方法など、ルールについては後日お知らせします。

【演習 3】「私の残したい地域文化財」の維持・管理・活用について提案しよう！

- ・演習 2 において発表された地域文化財について、地域活性やまちづくりの観点から、その文化財を具体的にどのように活用すればよいのかを演習 3 「私の残したい地域文化財」維持・管理・活用提案シートに記載します。
- ・これらは、令和8年1月24日開催予定の「第10回最終講座」の午前中に、発表していただく予定です。